©神奈川新聞社　無断での転載、改変、複製、頒布を禁止します

企画・制作＝神奈川新聞社横須賀支社

Yokosuka 海道ウォーク 市民の力で街おこしを

三浦半島活性化の一助に

第３回ウオークで護衛艦「いずも」の艦内を歩く参加者

三浦半島を元気にと、２０１３年に始まったウオークイベント「Ｙｏｋｏｓｕｋａ 海道ウォーク」。今では多くの市民が参加する大きなイベントに成長した。しかし、今年10月に開催する予定だった第８回が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から来年に延期となった。そこでイベント当初から関わっているメンバーにこれまでの苦労話や今後の展望などをお話しいただいた。（文中敬称略）

公的な性格持たせ

三浦半島観光再興プロジェクト「青木塾」塾長
青木　猛 さん

古谷　「Ｙｏｋｏｓｕｋａ海道ウォーク（以下海道ウォーク）」誕生の経緯をお話しください。

青木　２０１２年に私が始めた「青木塾」がきっかけです。私は横須賀市の観光課長を８年務めました。退職後に神奈川新聞で「追浜の歴史探訪」という連載を書いている当時、新聞社から「三浦半島をもっと元気にできないか」と相談を受けました。それで地元のさまざまな分野で活躍し、実践的な知識を持っている人に知恵を出し合ってもらう塾をスタートさせました。

古谷　ここにいる皆さんは青木塾１期生ですね。

青木　発足当初は約30人。テーマ別に５グループに分かれました。その一つのグループの卒業イベントとして参加無料のウオークイベントが企画され、実施するには公的な場所の使用や、企業・団体からの協賛など、多方面の協力が必要でした。そのため県や横須賀市、地元企業などと実行委員会を作り、公的な性格を持たせました。

新村　海道ウォークが現在まで続いてきているのは公的機関に加え、事業内容が重なり、普段は競合関係にあるような企業や団体が肩を並べて入ってくれていることにあります。

前川　最初は抵抗もあったようですが、熱い思いで一緒にやりましょうと誘った。その成果ですね。

回重ね増える協力

茨木動物病院 ベテリナリーテクニシャン
上原 理栄 さん

古谷　第１回のサブタイトルが「黒船のまちから三笠へ」でした。

前川　３７００人もの参加者がありました。びっくりしましたね。ゴール地点で配っていたアイスクリームの無料券がなくなってしまい大変だった（笑）。

上原　凍ったペットボトルの水を配りました。横須賀市から走水の水を提供してもらい、それを横須賀魚市場と水産会社が協力して凍らせました。暑かったので参加者からはとても喜ばれました。

新村　ほかにも休憩場所やスタンプコーナーなど、協力してくれた企業・団体が多かったですね。

青木　民間が力を集めて旗を振り、いわば下からつくり上げていったイベントだからこそだと思います。

古谷　第２回は秋の西海岸を歩こうと三浦半島の西側のルート、第３回は横須賀製鉄所１５０周年に関連して「近代化遺産をたどる」と、サブタイトルをつけました。

上原　第２回は逗子海岸や長者ケ崎海岸の駐車場などコース別に出発地点が分かれていました。当日は雨で、最寄り駅から長者ケ崎まで参加者をバスで送り出すのに苦労しました。第３回は追浜行政センターと海上自衛隊横須賀地方総監部に協力してもらい、基地敷地内の通り抜けや、就航間もない「いずも」に乗船できました。

リドレ横須賀 館長
新村 真悟 さん

横須賀歩け歩け協会 会長
前川 吉和 さん

三つの魅力伝える

苦労話や今後の展望で盛り上がった座談会

古谷　８回目となる今年は新型コロナウイルスの影響で来年に延期になりました。今後に向けて一言。

上原　アンケートを見ると市外の方も多く、県内外から認知されています。開催すれば多くの参加者が見込まれ、受け付け時など、〝密〟になることが避けられませんでした。

新村　安心して参加してもらわなければ。安全・安心が最優先です。

前川　来年は今年選んだコースをそのまま歩いてもらう予定です。市の浦賀奉行所開設３００周年イベントも１年延期され、コラボする計画になっています。

新村　海道ウォークは３００人を超えるボランティアが、コースの要所で「あと何キロです」、「お疲れさまでした」など声を掛け、案内をしてくれています。今後もこうした方々を大切にしていきたいです。

青木　前回は地元の大学生がボランティアとして参加してくれました。協賛している会社・団体も、のぼり旗を作って歩いています。その後に参加した企業や団体が社内報などで紹介してもらえれば、もっと広がっていくと思う。仲間づくりをさらに進めたいです。

上原　参加者に三浦半島をもっと知ってもらいたく、決めたコースを歩くだけでなく、そこで食や文化など、良いものに出会える機会になってほしいです。

前川　できれば上からも見てもらいたいですね。山に登って、高いところから見る。三浦半島はその意味でも魅力的です。

古谷　民間だからこそ地域を活性化させることができます。その成果をもう一歩進めていければ。三浦半島の「景色」と「食べ物」、「人」という三つの魅力を地元の手で伝えていきたいと思います。

雄設計室 代表取締役
古谷 雄一 さん（司会）

前川　この時は出発点にちょうどいい集合場所がなかなか見つからなくて…。決まるまで大変でした。

上原　北下浦観光協会や久里浜地区連合町内会の方々がコースの誘導などの協力をしてくれました。

新村　沿道の町内会が協力してくれるようになったことは良かったです。それが地域の活性化につながっていくわけですから。毎年の開催が決まったのもこの頃です。毎年であれば企業や団体も協賛しやすい。

青木　毎年開催は最大の成果だと思います。一般にイベントは５回続いたら一人前だといわれています。もう老舗です。

古谷　第４回は「御浦海道から開国海道へ」。東海岸を歩きました。

青木　追浜にある第三海堡の遺構も見ることができましたね。

古谷　そして第４回は「御浦海道から開国海道へ」。東海岸を歩きました。

第1回
「黒船のまちから三笠へ」
2013年5月26日(日)
参加人数：約3,700人
浦賀コミュニティ広場 ➡ 県立観音崎公園 ➡ 走水水源地 ➡ 横須賀魚市場 ➡ 三笠公園

第2回
「秋の西海岸を楽しむ」
2014年11月1日(土)
参加人数：約1,000人
逗子海岸 ➡ 浄楽寺 ➡ 佐島の丘公園 ➡ ソレイユの丘

第3回
「近代化遺産をたどる」
2015年10月31日(土)
参加人数：約4,000人
追浜行政センター ➡ 海上自衛隊第２術科学校 ➡ 海上自衛隊横須賀地方総監部 ➡ よこすかポートマーケット

第4回
「御浦海道から開国海道へ」
2016年10月29日(土)
参加人数：約3,000人
京急電鉄三浦事務所 ➡ 三浦海岸 ➡ 長沢海岸 ➡ 久里浜のペリー公園 ➡ 燈明堂跡 ➡ 浦賀コミュニティ広場

第5回
「ペリーゆかりの浦賀から日本遺産・三笠へ」
2017年10月21日(土)
参加人数：約1,000人
浦賀コミュニティ広場 ➡ 県立観音崎公園 ➡ 走水水源地 ➡ 横須賀魚市場 ➡ 三笠公園

第6回
「ペリーゆかりの浦賀から日本遺産・三笠へ」
2018年9月29日(土)
参加人数：約1,600人
浦賀コミュニティ広場 ➡ 県立観音崎公園 ➡ 走水水源地 ➡ 横須賀魚市場 ➡ 三笠公園

第7回
「日本遺産・横須賀 軍港の歴史と面影をたどる」
2019年10月5日(土)
参加人数：約2,500人
追浜行政センター ➡ 長浦コミュニティセンター広場 ➡ 海上自衛隊横須賀地方総監部 ➡ ヴェルニー公園 ➡ 三笠公園

Yokosuka 海道ウォーク Facebook

Yokosuka 海道ウォークホームページ https://www.yokosuka-walk.com/

実行委員会メンバー（順不同）

かながわ信用金庫／湘南信用金庫／ヤチヨ／カレーの街よこすか事業者部会／京急電鉄／古敷谷畜産／トライアングル／西武造園／さいか屋／三笠保存会／神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター／横須賀市／横須賀商工会議所／横須賀市観光協会／シティサポートよこすか／横須賀歩け歩け協会／ヨコスカ ウオーキング協会／三浦半島観光再興プロジェクト「青木塾」／神奈川新聞社

私たちは「Yokosuka 海道ウォーク」を応援しています

横須賀地域の中小企業経営を応援する
横須賀商工会議所
横須賀市平成町2-14-4
TEL.046-823-0400

横須賀のスポーツ・文化の振興に協力しています
シティサポートよこすか
横須賀市小川町11
TEL.046-823-1913

葉山牛・横須賀ビーフ……お肉のことなら
株式会社 古敷谷畜産
横須賀市公郷町5-102-4
TEL.046-853-4129

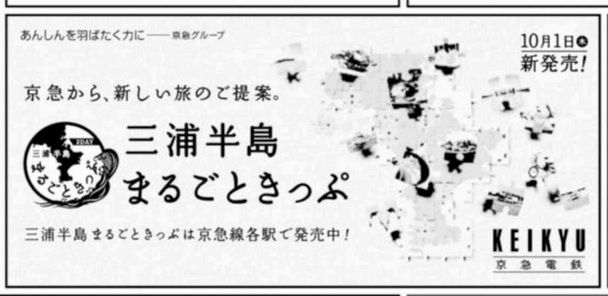
人をシアワセにする医療へ
学校法人 神奈川歯科大学
横須賀市稲岡町82
TEL.046-822-8751

新築からアフターメンテナンスまで
株式会社 大神
横須賀市大矢部2-9-20
TEL.046-835-1882

三浦半島観光再興プロジェクト
青木塾

これからの住まい創りをサポート
有限会社 雄設計室
逗子市逗子4-1-20
HP http://you-1.net　Email：info@you-1.net

武尊（ほたか）建設株式会社
建設業本来の「ものを創る喜び」、社会基盤を想像する「誇り」を心に刻み、お客様に心のこもった事業とサービスを通して高品質の作品と信頼を提供し続ける傍ら、
・温暖化防止対策事業としての壁面緑化工事
・プラスチック再生品製造・家屋の塗装工事等
の事業にも取り組んでおります。
〒239-0842 横須賀市長沢5-2-15
TEL.046-848-8705　http://hotakakensetsu.com



歩こうわが街 見つけよう 新たな魅力
SHONAN
街にいい風 湘南しんきん
湘南しんきん 検索
詳しくは湘南しんきんホームページへ

《かなしん よろず相談承り処》にご相談ください！
《かなしん よろず相談承り処》は
かながわ信用金庫が運営する
「なんでもご相談窓口」です。
ぜひお気軽にご利用ください。
場所：横須賀市大滝町2-21 営業時間：10:00～19:00
（三笠ビル商店街内）（12月31日、1月1, 2, 3日を除く）
くわしくは ☎0120－0468－01（フリーダイヤル）（受付時間）10:00～19:00
かながわ信用金庫 かなしん

YOKOSUKA LIDRE
毎日をいつも新鮮に。
ライフ ドレッシング。
LIFE + DRESSING = LIDRE
www.lidre.jp
健康を支える５のクリニック
生活を彩るテナント１５

都道府県民共済グループ
保障は全国共済かながわ
月掛金 2,000円 ニーズに合わせて選べる保障!
お申し込みは 満18歳～満64歳の健康な方
資料のご請求は 0120-550-366 ※電話番号はお間違いのないようにご注意ください。
◆資料請求受付時間／月～金 9:00～21:00　土・日・祝日 9:00～15:00　◆営業時間／月～金 9:00～17:30　定休日／土・日・祝日
共済取扱団体／神奈川県知事届出 全国共済神奈川県生活協同組合 〒231-0014 横浜市中区常盤町5-60 http://www.zenkokukyosai.or.jp/
共済元受団体／厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会 〒336-8508 埼玉県さいたま市南区沼影1-10-1 http://www kyosai-cc or jp/
この共済は生協法に基づき厚生労働省の認可を受けた事業で、ご加入者の暮らしの安心を守ることを使命としています。